

2020年度 第3四半期の業績の概要

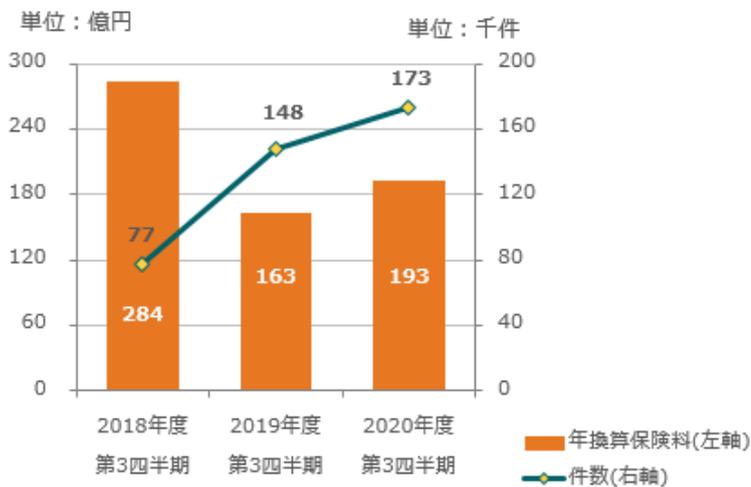
FWD富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 山岸 英樹）は、2020年度第3四半期（2020年4月1日～12月31日）の業績をお知らせいたします。

なお、金額、件数は記載単位未満の端数を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しています。

トピックス

1. 新契約件数・新契約年換算保険料

新契約件数は173千件となり、新契約年換算保険料は193億円となりました。



2. 保有契約件数・保有契約年換算保険料

保有契約件数は1,541千件となり、保有契約年換算保険料は1,816億円となりました。



3. 保険料収入

保険料収入は前年同期から5.5%増加し1,439億円となりました。

内訳 第一分野 1,147億円
第三分野 292億円



4. 総資産

総資産は2019年度末から6.8%増加し9,892億円となりました。

5. 純利益

純利益は52億円となりました。

6. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は2019年度末から238.4ポイント増加し、1,151.0%となりました。

2020年度第3四半期報告

FWD 富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼 CEO 山岸英樹）の2020年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	3 頁
3. 四半期貸借対照表	6 頁
4. 四半期損益計算書	7 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	9 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	10 頁
7. 特別勘定の状況	11 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	11 頁

以 上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2019 年度末		2020 年度 第 3 四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
				前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	1,403	90,765	1,534	109.4	110,552	121.8
個人年金保険	7	347	6	82.6	272	78.3
団 体 保 険	—	2,637	—	—	2,438	92.4
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2019 年度 第 3 四半期累計期間				2020 年度 第 3 四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数		金 額			
			新契約	転換による純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による純増加	
個 人 保 険	148	20,976	20,976	—	173	117.3	24,437	116.5	24,437	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	331	331	—	—	—	120	36.4	120	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2019 年度末	2020 年度	
		第 3 四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	172,840	179,345	103.8
個 人 年 金 保 険	2,551	2,280	89.4
合 計	175,392	181,625	103.6
うち医療保障・生前給付保障等	56,961	58,957	103.5

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2019 年度 第 3 四半期累計期間	2020 年度	
		第 3 四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	16,370	19,306	117.9
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	16,370	19,306	117.9
うち医療保障・生前給付保障等	4,672	5,385	115.3

- (注) 1. 年換算保険料とは、1 回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1 年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2019 年度末		2020 年度 第 3 四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コール・ローン	55,839	6.0	36,942	3.7
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	785,255	84.8	874,224	88.4
公 社 債	265,343	28.7	274,680	27.8
株 式	53,405	5.8	52,411	5.3
外 国 証 券	466,407	50.4	547,002	55.3
公 社 債	445,463	48.1	515,094	52.1
株 式 等	20,944	2.3	31,907	3.2
その他の証券	98	0.0	129	0.0
貸付金	18,617	2.0	18,739	1.9
不動産	12,791	1.4	12,698	1.3
繰延税金資産	—	—	—	—
その他	53,625	5.8	46,641	4.7
貸倒引当金	△12	△0.0	△30	△0.0
合 計	926,116	100.0	989,215	100.0
うち外貨建資産	355,103	38.3	467,180	47.2

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2019 年度末					2020 年度 第 3 四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	17,415	17,419	4	4	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	714,707	719,412	4,705	27,691	22,986	761,575	784,970	23,394	25,680	2,285
公 社 債	251,370	264,941	13,570	13,620	49	254,290	256,862	2,571	3,125	553
株 式	347	725	377	377	—	347	781	433	433	—
外 国 証 券	462,888	453,647	△9,240	13,694	22,935	506,832	527,197	20,364	22,096	1,731
公 社 債	454,750	445,463	△9,287	13,353	22,640	496,794	515,094	18,300	19,647	1,346
株 式 等	8,138	8,184	46	340	294	10,038	12,102	2,064	2,448	384
その他の証券	99	98	△1	—	1	104	129	24	24	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	714,707	719,412	4,705	27,691	22,986	778,990	802,389	23,399	25,684	2,285
公 社 債	251,370	264,941	13,570	13,620	49	271,705	274,281	2,576	3,130	553
株 式	347	725	377	377	—	347	781	433	433	—
外 国 証 券	462,888	453,647	△9,240	13,694	22,935	506,832	527,197	20,364	22,096	1,731
公 社 債	454,750	445,463	△9,287	13,353	22,640	496,794	515,094	18,300	19,647	1,346
株 式 等	8,138	8,184	46	340	294	10,038	12,102	2,064	2,448	384
その他の証券	99	98	△1	—	1	104	129	24	24	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいません。

2. 「金銭の信託」については該当ありません。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2019 年度末	2020 年度 第 3 四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他の他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	54,486	53,798
その他の有価証券	9,680	14,949
非上場国内株式（店頭売買株式を除く）	80	80
非上場外国株式（店頭売買株式を除く）	—	—
非上場外国債券	—	—
その他の他	9,600	14,869
合 計	64,166	68,748

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2019 年度末 要約貸借対照表 (2020 年 3 月 31 日現在)	2020 年度 第 3 四半期会計期間末 (2020 年 12 月 31 日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		55,839	36,942
有価証券		785,255	874,224
(うち国債)	(252,222)	(264,029)
(うち社債)	(13,120)	(10,650)
(うち株式)	(53,405)	(52,411)
(うち外国証券)	(466,407)	(547,002)
貸付金		18,617	18,739
保険約款貸付		18,608	18,732
一般貸付		8	6
有形固定資産		14,005	13,700
無形固定資産		8,146	8,719
代理店貸		42	39
再保険貸		18,086	16,753
その他資産		26,047	20,009
前払年金費用		87	116
貸倒引当金		△12	△30
資産の部合計		926,116	989,215
(負債の部)			
保険契約準備金		850,811	892,825
支払備金		4,362	5,395
責任準備金		846,121	887,067
契約者配当準備金		327	362
代理店借		4,038	3,599
再保険借		12,457	5,913
その他負債		17,667	15,423
未払法人税等		299	738
資産除去債務		514	502
その他の負債		16,853	14,182
役員退職慰労引当金		69	77
価格変動準備金		2,088	2,541
繰延税金負債		1,768	7,396
負債の部合計		888,901	927,777
(純資産の部)			
資本金		37,750	37,750
資本剰余金		27,750	27,750
資本準備金		27,750	27,750
利益剰余金		△27,552	△22,348
その他利益剰余金		△27,552	△22,348
繰越利益剰余金		△27,552	△22,348
株主資本合計		37,947	43,151
その他有価証券評価差額金		4,612	19,089
繰延ヘッジ損益		△5,345	△802
評価・換算差額等合計		△732	18,286
純資産の部合計		37,214	61,438
負債及び純資産の部合計		926,116	989,215

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2019 年度 第 3 四半期累計期間		2020 年度 第 3 四半期累計期間	
		(2019 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで)		(2020 年 4 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで)	
		金額		金額	
経常収益		226,262		252,498	
保険料等収入		194,669		215,256	
(うち保険料)	(136,512)	(143,965
資産運用収益		28,868		29,493	
(うち利息及び配当金等収入)	(13,004)	(11,184
(うち有価証券売却益)	(15,830)	(16,792
(うち為替差益)	(—)	(1,139
その他経常収益		2,724		7,747	
経常費用		219,049		243,399	
保険金等支払金		119,455		149,588	
(うち保険金)	(8,210)	(13,445
(うち年金)	(2,574)	(10,166
(うち給付金)	(8,284)	(8,369
(うち解約返戻金)	(19,092)	(23,397
(うちその他返戻金)	(1,618)	(2,722
責任準備金等繰入額		51,534		41,978	
支払備金繰入額		656		1,033	
責任準備金繰入額		50,878		40,945	
契約者配当金積立利息繰入額		0		0	
資産運用費用		6,487		7,465	
(うち支払利息)	(4)	(3
(うち金銭の信託運用損)	(0)	(—
(うち有価証券売却損)	(2,163)	(3,904
(うち金融派生商品費用)	(2,992)	(2,942
(うち為替差損)	(858)	(—
事業費		38,325		40,939	
その他経常費用		3,247		3,427	
経常利益		7,212		9,098	
特別損失		425		2,395	
固定資産等処分損		20		33	
価格変動準備金繰入額		404		452	
その他特別損失		—		1,909	
契約者配当準備金繰入額		144		128	
税引前四半期純利益		6,642		6,575	
法人税及び住民税		1,102		1,371	
法人税等合計		1,102		1,371	
四半期純利益		5,540		5,203	

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2020年度第3四半期会計期間末

1. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、58,783 百万円であります。
2. 契約者配当準備金の異動状況は以下のとおりであります。

イ. 当期首現在高	327 百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	93 百万円
ハ. 利息による増加等	0 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	128 百万円
ホ. 当第3四半期会計期間末現在高	362 百万円
3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2020年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は3,972円47銭です。なお、潜在株式はありません。
2. その他特別損失は、希望退職制度の実施に伴う割増退職金等であります。
3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2019 年度 第 3 四半期累計期間	2020 年度 第 3 四半期累計期間
基礎利益	A	△1,399	△655
キャピタル収益		15,830	17,932
	金銭の信託運用益	—	—
	売買目的有価証券運用益	—	—
	有価証券売却益	15,830	16,792
	金融派生商品収益	—	—
	為替差益	—	1,139
	その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用		6,014	6,847
	金銭の信託運用損	0	—
	売買目的有価証券運用損	—	—
	有価証券売却損	2,163	3,904
	有価証券評価損	—	—
	金融派生商品費用	2,992	2,942
	為替差損	858	—
	その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益	B	9,816	11,084
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	8,417	10,429
臨時収益		1	—
	再保険収入	—	—
	危険準備金戻入額	—	—
	個別貸倒引当金戻入額	1	—
	その他臨時収益	—	—
臨時費用		1,205	1,331
	再保険料	—	—
	危険準備金繰入額	1,205	1,312
	個別貸倒引当金繰入額	—	18
	特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
	貸付金償却	—	—
	その他臨時費用	—	—
臨時損益	C	△1,204	△1,331
経常利益	A+B+C	7,212	9,098

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2019 年度末	2020 年度 第 3 四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	92,768	125,559
資本金等	37,947	43,151
価格変動準備金	2,088	2,541
危険準備金	8,621	9,933
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合 100%)	931	23,155
土地の含み損益×85%(マイナスの場合 100%)	△785	△550
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	48,875	47,327
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△4,911	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	20,328	21,815
保険リスク相当額 R1	1,390	1,377
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	925	855
予定利率リスク相当額 R2	493	501
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	19,042	20,498
経営管理リスク相当額 R4	655	697
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	912.6%	1,151.0%

(注) 上記は、保険業法施行規則第 86 条、第 87 条及び平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	2019 年度末	2020 年度 第 3 四半期 会計期間末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	925,330	988,669
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	827,547	860,577
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	97,783	128,091
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	—	4
実質資産負債差額 B (3) - (4)	97,783	128,087

- (注) 1. 「実質資産負債差額 A」は、実質資産負債差額の算出方法を定めた保険業法第 132 条第 2 項に規定する区分等を定める命令第 3 条および平成 11 年金融監督庁・大蔵省告示第 2 号の規定に基づき算出しています。
2. 「実質資産負債差額 B」は、「実質資産負債差額 A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものであり、上記 1. の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6 に基づき算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当社の連結子会社であるマーキュリーNHB 特定目的会社等は東京都において賃貸用のオフィスビル等を保有しております。連結子会社の当第 3 四半期連結会計期間末における賃貸等不動産の貸借対照表価額は 36,219 百万円、時価は 37,900 百万円であります。

連結子会社の当第 3 四半期連結累計期間の経常収益は 1,167 百万円（前年同期 1,010 百万円）、経常利益は 395 百万円（前年同期 245 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 393 百万円（前年同期 243 百万円）であります。

当連結子会社では不動産の保有及び管理等に係る業務以外は行っていないため、この資料における連結財務諸表の開示は省略しています。